

農業景況DIが3年ぶり上昇、稲作の改善が寄与

— 日本公庫・平成23年農業景況調査結果 —

<調査結果のポイント>

○ 23年景況DIは、全体ではマイナス幅が縮小

農業全体の23年の景況DIは、21年以降2年連続の下降から脱し、昨年(▲25.2)に比べ、マイナス幅は17.3ポイント縮小し、マイナス7.9となった。

これは、回答数の3割を占める稲作が、大幅に上昇(北海道:▲36.9→43.5、都府県:▲55.5→13.1)し、プラスに転じたことが影響している。

○ 震災等の影響で、業種別の景況DIは、大きく異なる結果に

稲作は、22年は猛暑影響で一等米比率が過去最低となったことなどから、景況DIのマイナス幅を拡大したが、23年は作況指数、一等米比率ともに平年並みに戻ったことなどから大幅にプラスに転じた。

一方で、肉用牛(▲47.4)、茶(▲47.3)、きのこ(▲47.1)、施設花き(▲38.8)は、東日本大震災の影響等を受け、大きなマイナス値となっている(平成24年3月6日付プレスリリース「東日本大震災の影響①・農業 平成23年農業景況調査結果【特別調査】」参照)。

○ 24年の見通しDIは、多くの業種で上昇

24年の見通しDIは、多くの業種で23年景況DIより上昇し、農業全体でマイナス0.7となっており、24年への期待感からマイナス幅が縮小された模様。

また、設備投資見込みDIについても、農業全体では前年のマイナス33.9から、マイナス25.4となりマイナス幅が縮小された。特に、稲作については、大幅に上昇(北海道:▲32.9→▲9.5、都府県:▲30.1→▲8.5)した。

調査時点	平成24年1月
調査方法	往復はがきによる郵送
調査対象	スーパーL資金又は農業改良資金融資先のうち21,485先 (※原発事故の避難区域等については、今回の調査対象外としています。)
有効回答数	7,258先(回収率33.8%)
地方区分	地方農政局管区と同様

【(注) DI (Diffusion Index = 動向指数) について】

DIは、前年と比較して、「良くなった」の構成比から「悪くなった」の構成比を差し引いたものです。

景況天気図

経営部門	H23.1		H24.1調査	
	実績		実績	見通し
農業全体	→ → ▲ 25.2		→ ▲ 7.9	 ▲ 0.7
稲作 (北海道)	→ → ▲ 36.9		43.5	▲ 6.8
稲作 (都府県)	→ → ▲ 55.5		13.1	4.5
畑作	→ → ▲ 32.2		▲ 19.1	▲ 19.8
露地野菜	→ → ▲ 2.0		▲ 14.0	4.7
施設野菜	→ → ▲ 6.9		▲ 15.7	9.9
茶	→ → ▲ 32.1		▲ 47.3	▲ 16.6
果樹	→ → ▲ 0.9		▲ 11.7	14.2
施設花き	→ → ▲ 20.5		▲ 38.8	5.0
きのこ	→ → ▲ 51.8		▲ 47.1	▲ 14.7
酪農 (北海道)	→ → ▲ 37.8		▲ 26.9	▲ 11.4
酪農 (都府県)	→ → 0.0		▲ 24.2	9.2
肉用牛	→ → ▲ 7.4		▲ 47.4	▲ 6.8
養豚	→ → 15.5		▲ 6.2	12.5
採卵鶏	→ → 14.1		8.4	▲ 50.0
ブロイラー	→ → ▲ 20.0		▲ 6.3	0.0

(注) ≤ -50 < ≤ -20 < ≤ -5
 -5 < < 5 ≤ < 21 ≤

調査様式

平成23年の経営を振り返って、平成22年の経営と比べるといかがでしたか。年間を通した状況についてご回答ください。

● 農業経営の業況は

1:良くなった 2:変わらない 3:悪くなった

● 今年(平成24年)の経営見通しは、

1:良くなる 2:変わらない 3:悪くなる

調査概要

調査時点

平成24年1月・郵送調査

調査対象

スーパーL資金／農業改良資金
融資先 (計21,485先)

有効回答数

7,258先 (回収率33.8%)

農業全体

H22年 景況DI
▲ 25.2
全体としてマイナスとなった。プラスは、養豚、採卵鶏の2業種のみだった。



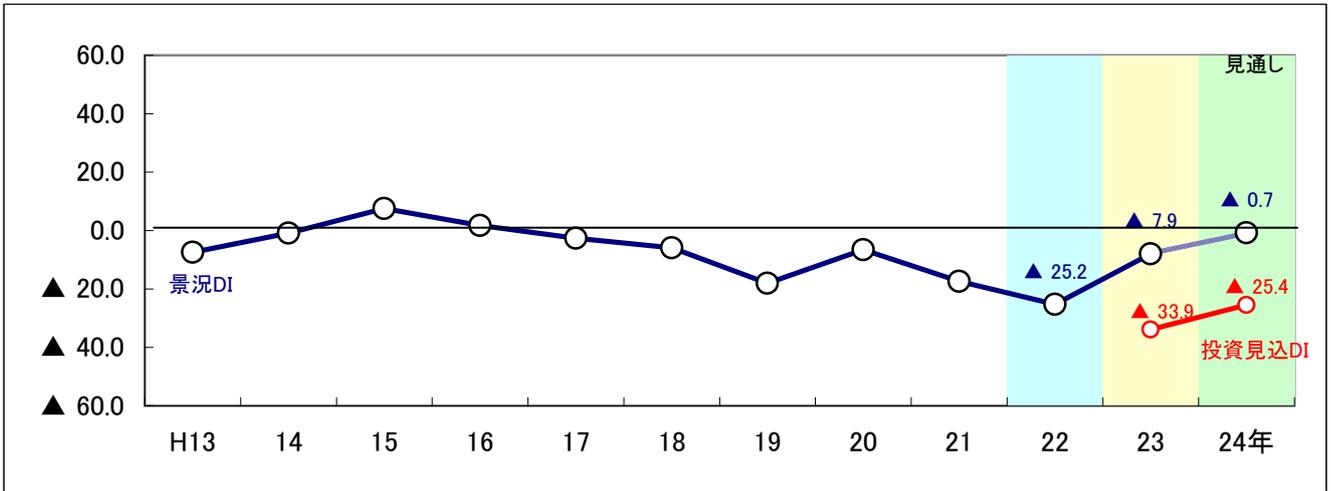
H23年 景況DI
▲ 7.9 (▲ 21.6)
東日本大震災の影響等でマイナス幅を拡大した業種もあるが、稲作がプラスに転じたことを受け、全体のマイナス幅が縮小した。



H24年の見通しDI
▲ 0.7 (▲ 24.4)
H23年マイナスとなっている業種も、H24見通しではマイナス幅が縮小している傾向。

()内は23年8月調査時の景況DI

()内は23年8月調査時の23年見通しDI



稲作(北海道・都府県)

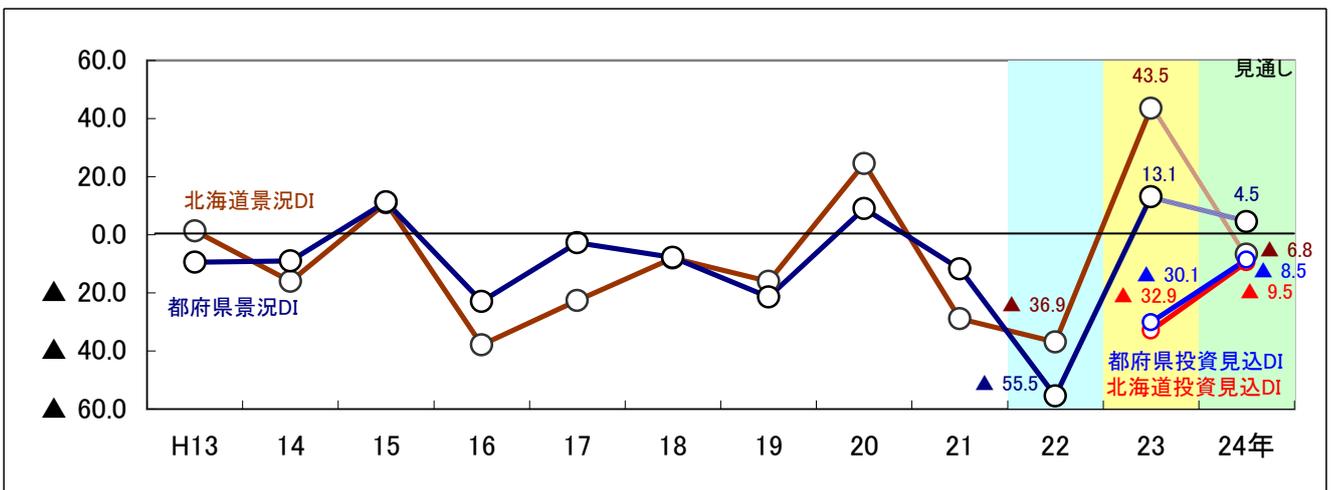
H22年 景況DI
北海道 ▲ 36.9
都府県 ▲ 55.5
供給過剰との見方から前年より概算金が大幅に引下げられたことや、猛暑により一等米比率が過去最低となった。



H23年 景況DI
北海道 43.5 (▲ 12.2)
都府県 13.1 (▲ 18.0)
23年産は作況指数101、一等米比率も平年並に戻り、また、東日本大震災の影響で品薄感が強まったこと等から概算金は昨年よりも上乗せされた。

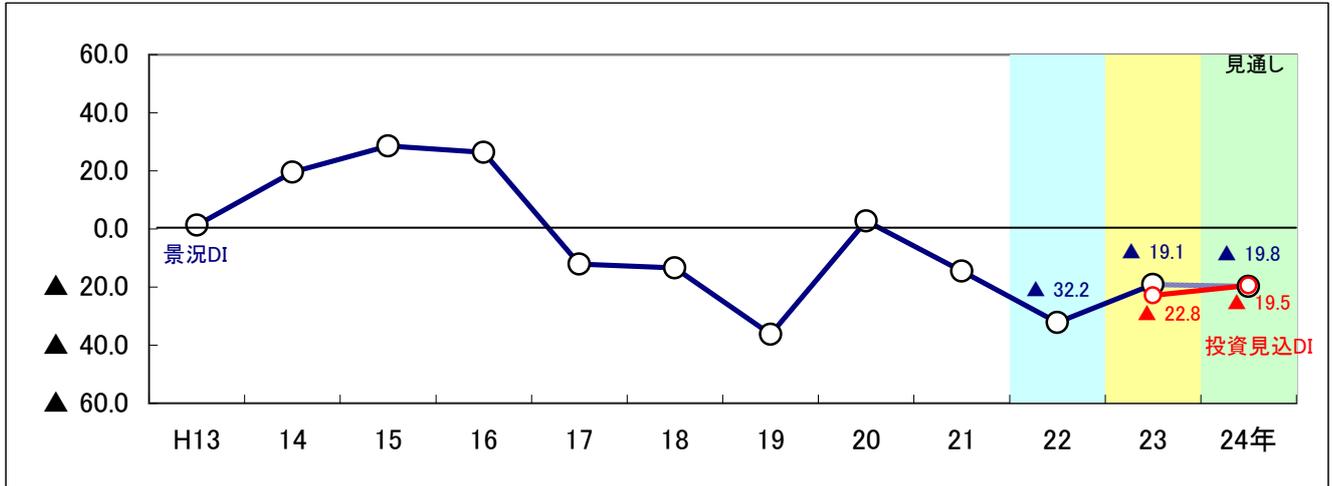


H24年の見通しDI
北海道 ▲ 6.8 (▲ 14.3)
都府県 4.5 (▲ 11.7)
12月の相対取引価格は前年同月比で60kg当たり2,500円以上高く、また、農水省の調査で、4月までの見通しとして、米価水準は高くなるとみる業者が多い結果が出ている。



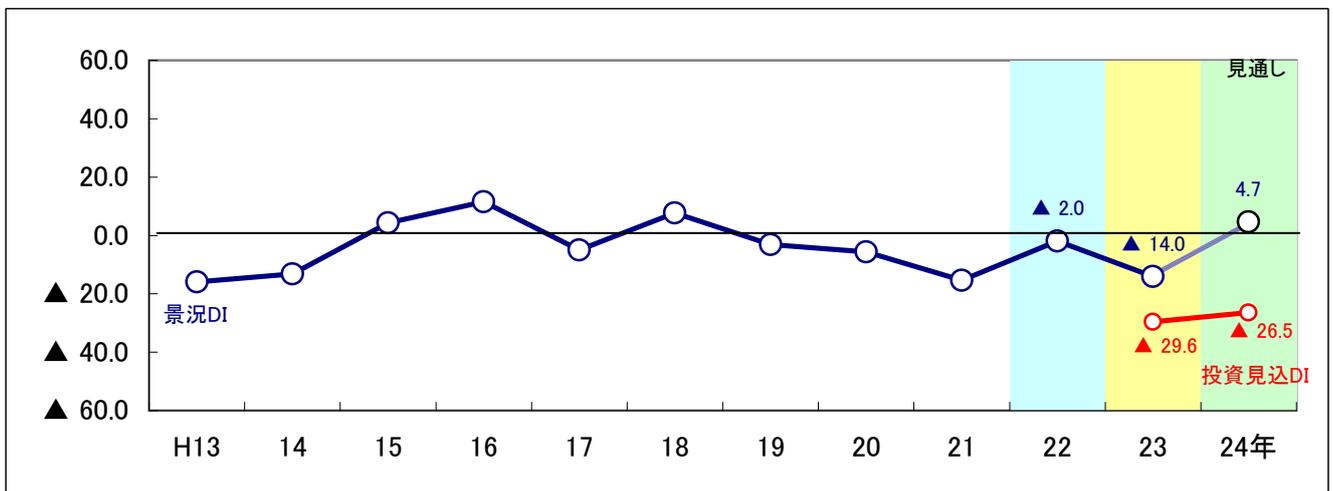
畑 作

H22年 景況DI	H23年 景況DI	H24年の見通しDI
▲ 32.2	▲ 19.1 (▲ 20.2)	▲ 19.8 (▲ 35.9)
夏場の高温・多湿で小麦や大豆などの品質が低下し、価格が下落した。	23年産の畑作物は単収の回復により、概ね前年より収穫量が増加した。また、23年度から戸別所得補償制度が始まった。	輸入麦の価格上昇により、国産小麦の価格も上昇。一方で輸入自由化が懸念材料。



露 地 野 菜

H22年 景況DI	H23年 景況DI	H24年の見通しDI
▲ 2.0	▲ 14.0 (▲ 14.6)	4.7 (▲ 29.1)
夏場の猛暑等による品薄で総じて価格が堅調に推移した。	23年の野菜の市場価格は前年に比べて軟調に推移した。	23年末～24年初では、キャベツやレタス等の野菜価格が堅調に推移している。



施設野菜

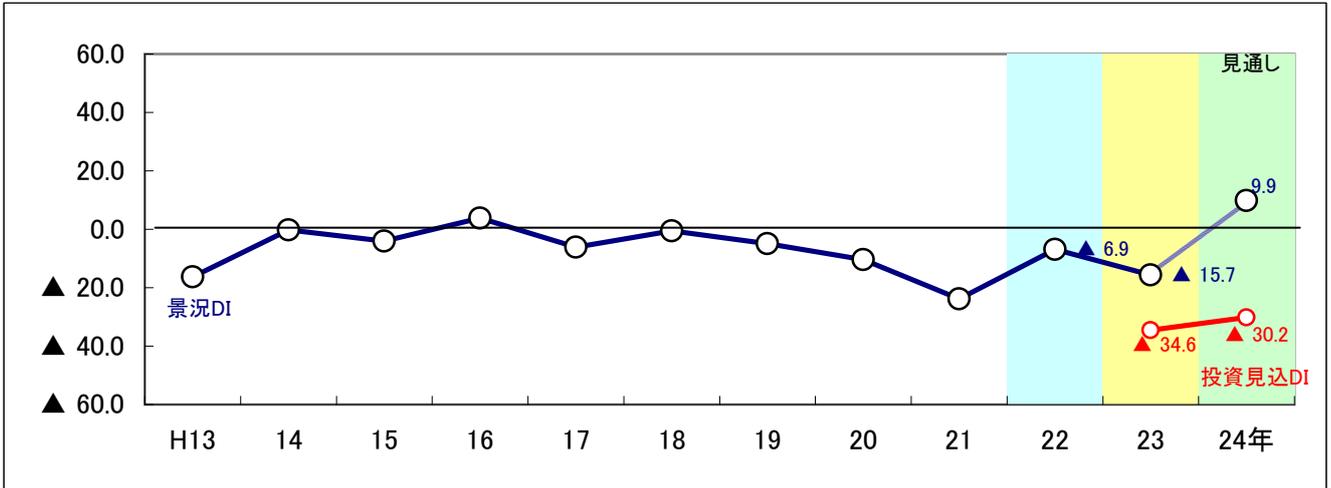
H22年 景況DI
▲ 6.9
夏場の猛暑等による品薄でトマト等の価格が堅調に推移した。



H23年 景況DI
▲ 15.7 (▲ 23.8)
23年の野菜の市場価格は前年に比べて軟調に推移したことに加え、燃油価格等生産コストが高止まりした。



H24年の見通しDI
9.9 (▲ 23.8)
23年末～24年初では、トマトやイチゴ等の野菜価格が堅調に推移している。



茶

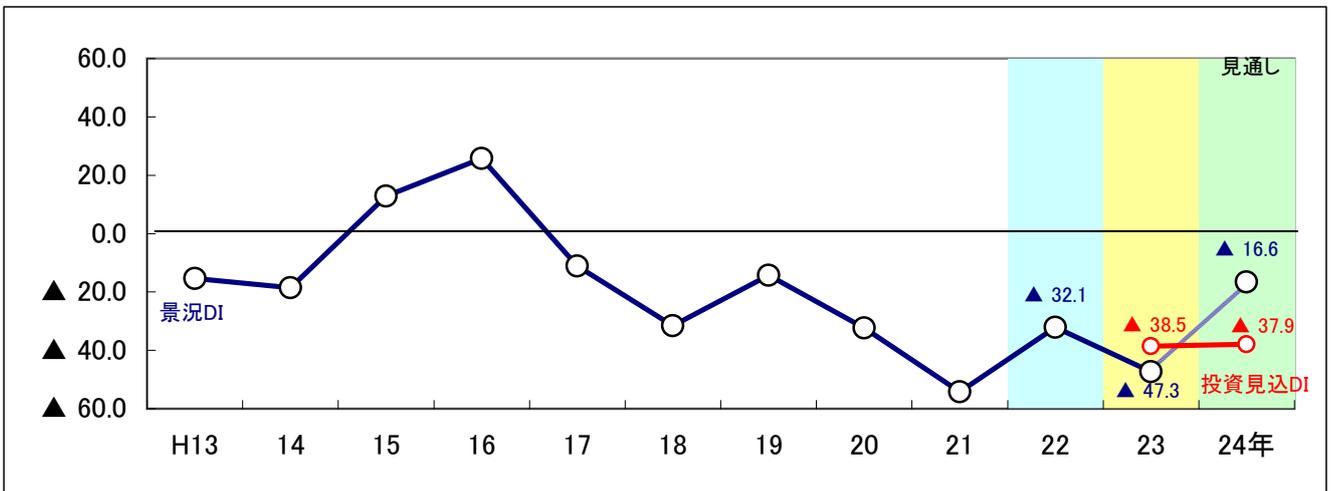
H22年 景況DI
▲ 32.1
凍霜害の影響で一部に大きな被害がでたが、生産量の減少により価格が上昇した。



H23年 景況DI
▲ 47.3 (▲ 55.7)
一番茶価格が前年を割り込んだ影響が大きい。二番茶以降は相場高であった。



H24年の見通しDI
▲ 16.6 (▲ 47.4)
輸出動向は前年並みで推移。国内消費の動向にも大きな変化はみられない。一番茶価格への期待が高まっている。



果 樹

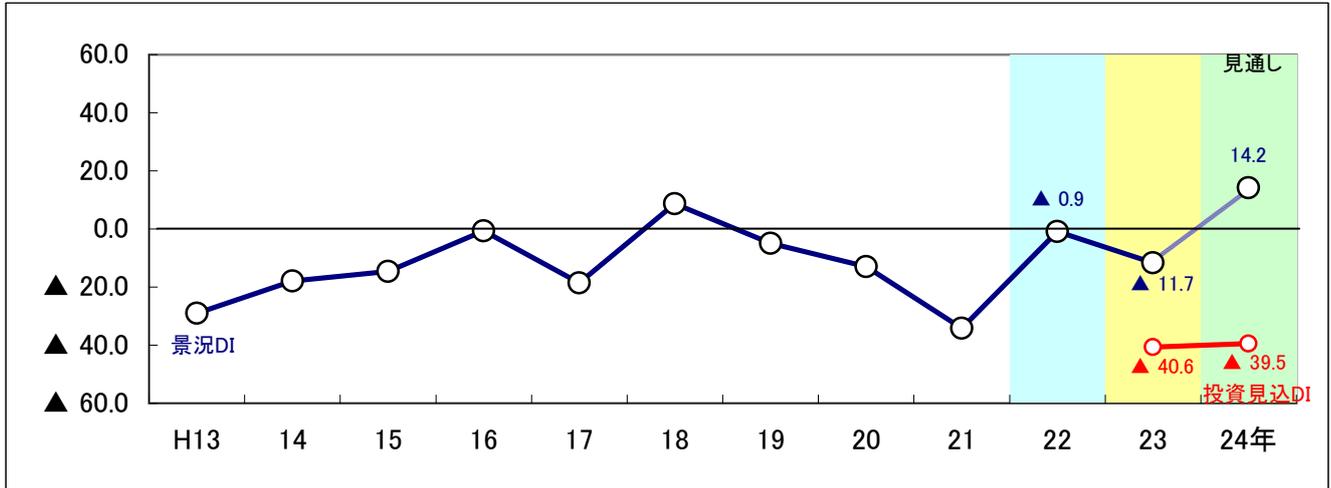
H22年 景況DI
▲ 0.9
22年は裏年で生産量が減少したこと、猛暑で小玉化したことで、出荷量は減少したものの、価格が上昇した。



H23年 景況DI
▲ 11.7 (▲ 9.7)
市場取扱量は前年より多く、価格も平年並みで推移しているが、一部の地域では原発事故及び台風12号、15号等の影響がみられる。



H24年の見通しDI
14.2 (▲ 27.4)
みかんは天候不良等により表年としては市場取扱量が少なく価格も高めで推移。りんごも同様に市場取扱量が少なく価格は高めで推移。



施 設 花 き

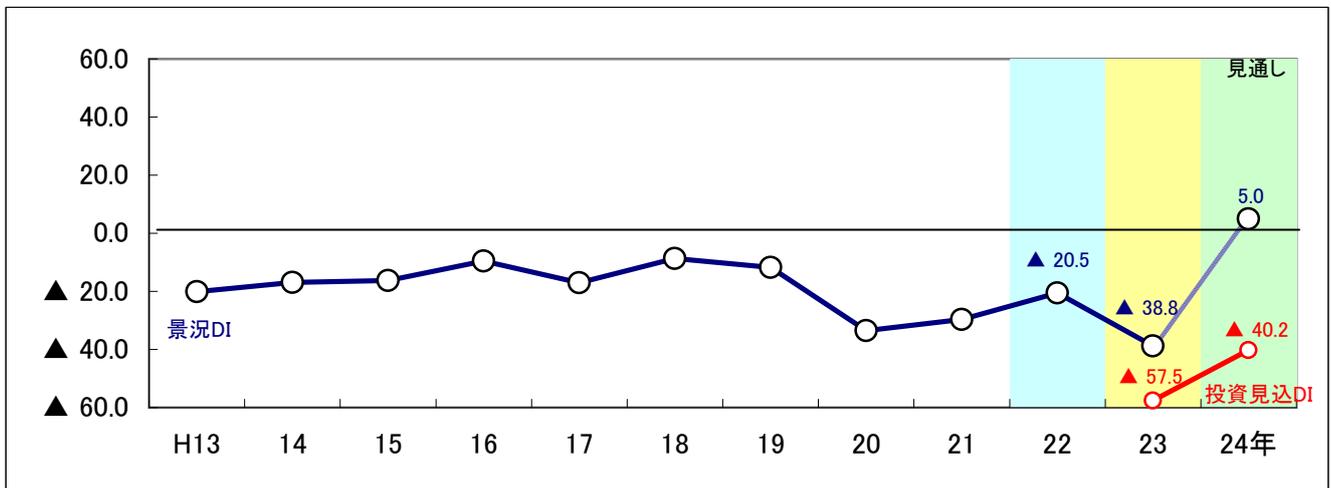
H22年 景況DI
▲ 20.5
猛暑等の影響により出荷量が減少したものの、総じて価格が堅調に推移した。



H23年 景況DI
▲ 38.8 (▲ 41.9)
猛暑の影響で市場取扱量減の価格高となった22年と比較して市場取扱量は若干増だが、価格は低下している。



H24年の見通しDI
5.0 (▲ 36.2)
きくは今後の不安材料も少なく市場取扱量、価格ともに安定的に推移する見込み。ばらは市場取扱量、輸入量ともに少な目で価格は平年並み。



きのこ

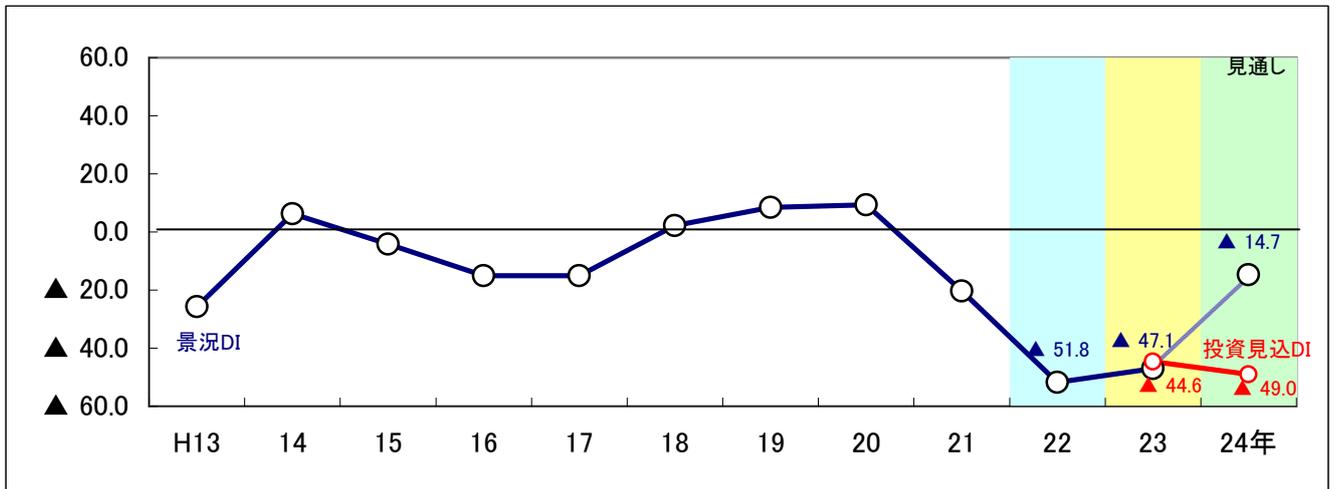
H22年 景況DI
▲ 51.8
しいたけ、えのきだけ等一部品目で価格が軟調に推移した。



H23年 景況DI
▲ 47.1 (▲ 56.0)
増産により供給過剰気味となっていたことに加え、更に原発事故の影響等により、全般的に単価安の傾向が続いた。



H24年の見通しDI
▲ 14.7 (▲ 48.6)
引き続き増産が見込まれ、単価安の傾向は続いていく見込み。



酪農（北海道・都府県）

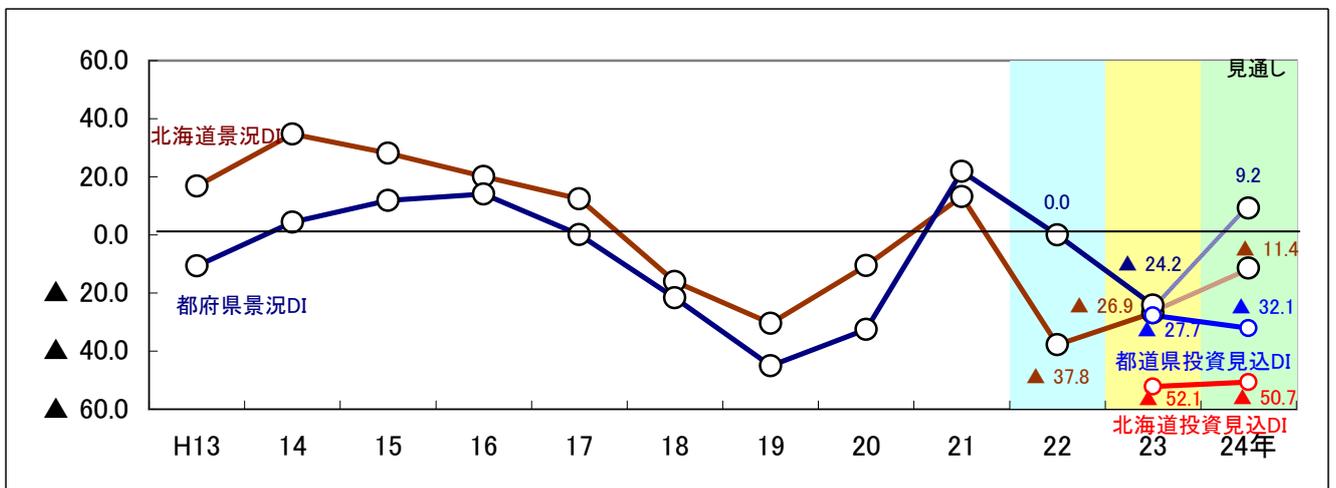
H22年 景況DI
北海道 ▲ 37.8
都府県 0.0
北海道は生クリーム向け乳価引下げ。全国的に猛暑による乳量・繁殖成績等の影響が出た。



H23年 景況DI
北海道 ▲ 26.9 (▲ 25.2)
都府県 ▲ 24.2 (▲ 24.1)
22年の猛暑による繁殖影響や、東日本大震災や原発事故の影響により、都府県の生乳生産量は低下。北海道の生乳は、都府県の飲用向け等の移送が増加した。



H24年の見通しDI
北海道 ▲ 11.4 (▲ 38.6)
都府県 9.2 (▲ 24.7)
H22年の猛暑影響からはほぼ脱し、中央酪農会議が、平成24年度は増産、今後3年間は減産しない方針を示した。

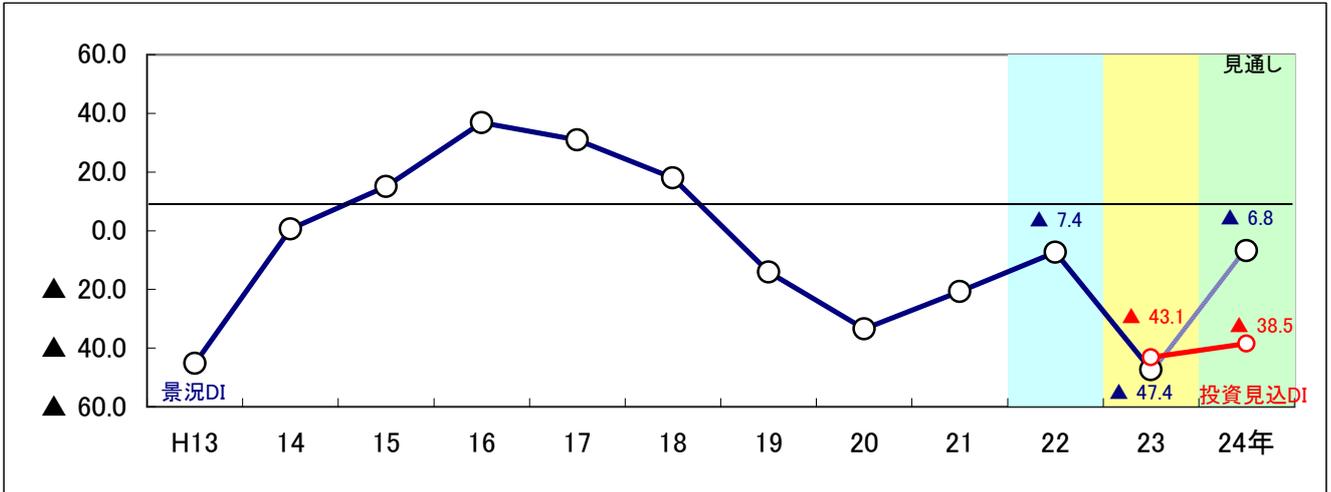


肉用牛

H22年 景況DI
▲ 7.4
価格は軟調だったが、販売価格に対する飼料費・素畜費等の生産コスト割合が低下した。

H23年 景況DI
▲ 47.4 (▲ 62.9)
震災後の節約傾向と、原発事故により牛肉から放射性物質が検出されたことを受け、牛肉全体の需要が激減し価格も下落した。

H24年の見通しDI
▲ 6.8 (▲ 67.4)
放射性物質の検査体制の導入などにより、西日本を中心に需要が回復。枝肉価格も震災前程度に回復傾向。

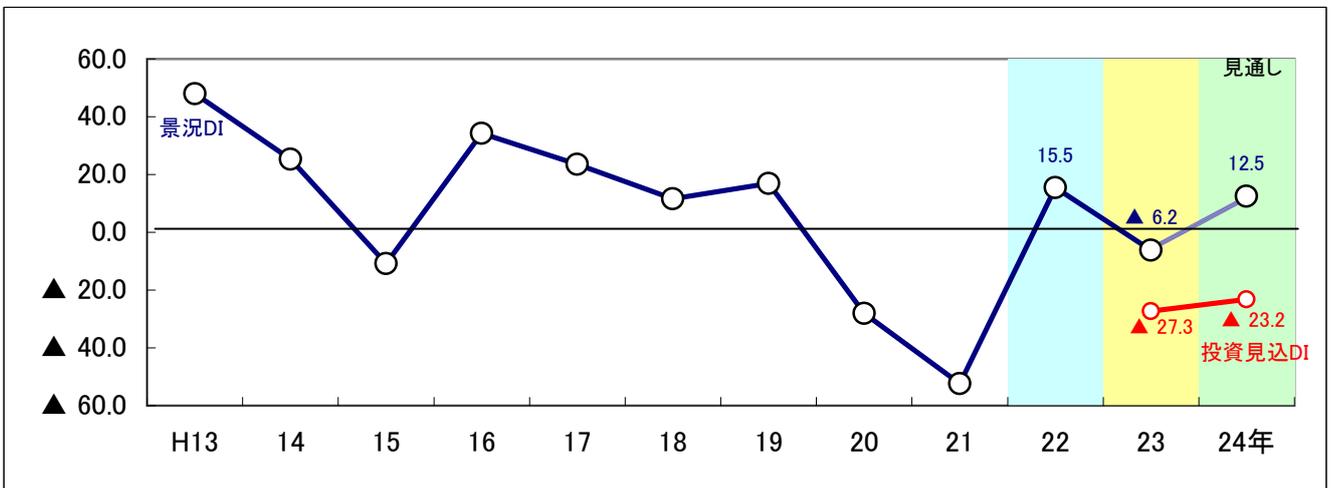


養豚

H22年 景況DI
15.5
口蹄疫発生や猛暑の影響により出荷頭数が減少したことから、価格が前年に比べて堅調に推移した。配合飼料価格が前年を下回って推移した。

H23年 景況DI
▲ 6.2 (17.3)
前半は、前年からの出荷頭数の減少が続いたことなどから、価格は堅調に推移。9～11月は出荷頭数の増加のため、価格は前年度を下回って推移したが、その後は、平常並みの水準で推移。

H24年の見通しDI
12.5 (21.6)
消費者の節約傾向が続いており、需要は底堅い。



採 卵 鶏

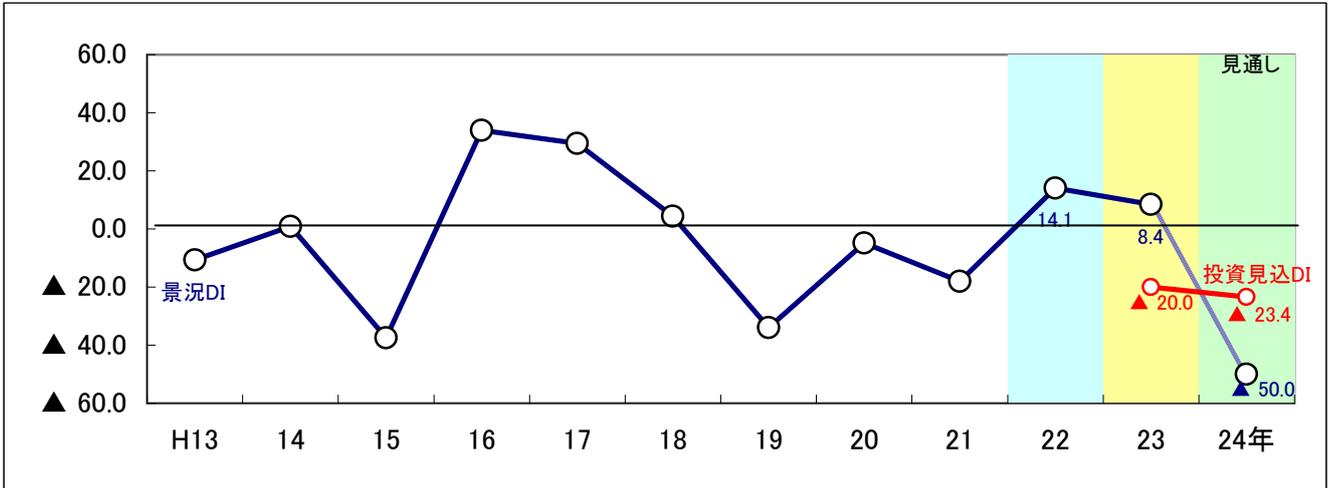
H22年 景況DI
14.1
価格が前年より大幅プラスに転じた。配合飼料価格が前年を下回って推移した。



H23年 景況DI
8.4 (29.4)
震災影響で供給が減少し、価格が上昇。7月以降、供給が回復したことから価格は概ね平年並みで推移。



H24年の見通しDI
▲ 50.0 (24.2)
年末は需要期のため、例年高値傾向になるが、23年末は価格が上昇せず、24年初も安値スタートとなった。



ブ ロ イ ラ ー

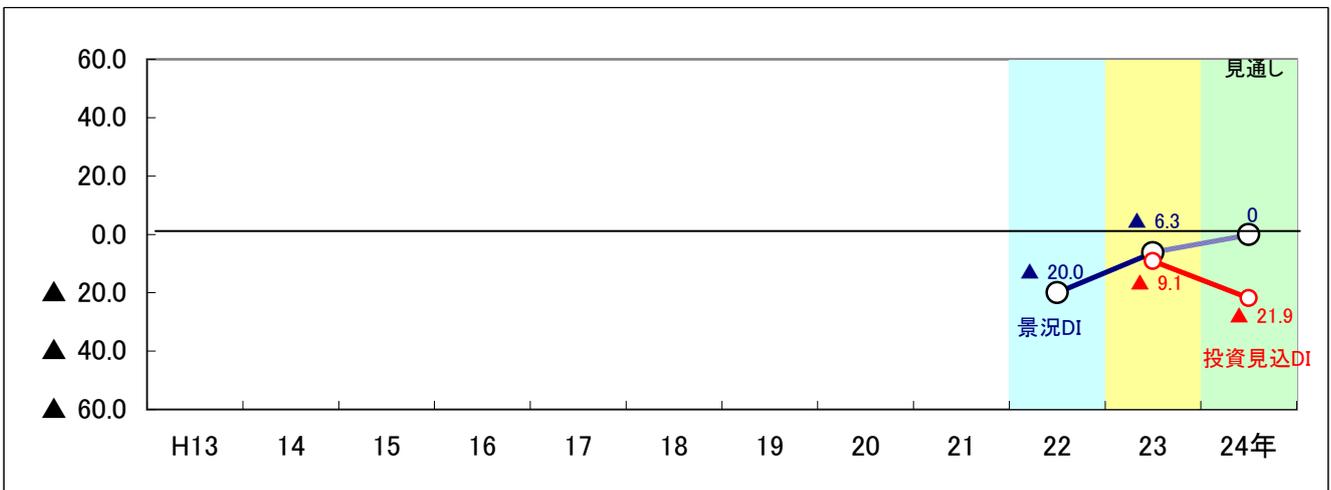
H22年 景況DI
▲ 20.0
配合飼料価格が前年を下回るも、猛暑による飼養羽数の減少があった。



H23年 景況DI
▲ 6.3 (▲ 21.4)
震災が東日本の生産・出荷に大きく影響したため、年前半の価格は堅調に推移。後半は、国産の生産量減少を見込んだ輸入が増加したこと等により軟調に推移した。



H24年の見通しDI
0.0 (0.0)
生産量は順調に回復。消費者の節約傾向が続いており、需要は底堅い。



(注:ブロイラーは、平成22年以降のデータより公表しています。)

■DI時系列データ

1. 業況判断DI

	平成13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年上期	23年
農業全体	▲ 7.5	▲ 0.8	7.5	1.8	▲ 2.6	▲ 5.9	▲ 18.0	▲ 6.6	▲ 17.4	▲ 25.2	▲ 21.6	▲ 7.9
水稲(北海道)	1.4	▲ 16.1	11.0	▲ 37.9	▲ 22.7	▲ 8.1	▲ 16.0	24.5	▲ 29.0	▲ 36.9	▲ 12.2	43.5
水稲(都府県)	▲ 9.4	▲ 9.0	11.3	▲ 23.0	▲ 2.8	▲ 7.8	▲ 21.4	9.1	▲ 11.7	▲ 55.5	▲ 18.0	13.1
畑作	1.4	19.5	28.6	26.3	▲ 12.1	▲ 13.4	▲ 36.3	2.8	▲ 14.5	▲ 32.2	▲ 20.2	▲ 19.1
露地野菜	▲ 15.9	▲ 13.2	4.3	11.6	▲ 5.0	7.7	▲ 3.1	▲ 5.6	▲ 15.4	▲ 2.0	▲ 14.6	▲ 14.0
施設野菜	▲ 16.3	▲ 0.2	▲ 4.0	3.8	▲ 6.1	▲ 0.5	▲ 4.9	▲ 10.4	▲ 23.8	▲ 6.9	▲ 23.8	▲ 15.7
茶	▲ 15.4	▲ 18.5	12.8	25.8	▲ 11.1	▲ 31.6	▲ 14.3	▲ 32.4	▲ 54.2	▲ 32.1	▲ 55.7	▲ 47.3
果樹	▲ 29.0	▲ 17.9	▲ 14.6	▲ 0.7	▲ 18.6	8.6	▲ 4.9	▲ 13.0	▲ 34.1	▲ 0.9	▲ 9.7	▲ 11.7
施設花き	▲ 20.1	▲ 16.9	▲ 16.2	▲ 9.5	▲ 17.0	▲ 8.7	▲ 11.7	▲ 33.5	▲ 29.7	▲ 20.5	▲ 41.9	▲ 38.8
きのこ	▲ 25.7	6.2	▲ 4.1	▲ 15.0	▲ 15.0	2.2	8.4	9.3	▲ 20.4	▲ 51.8	▲ 56.0	▲ 47.1
酪農(北海道)	16.9	34.7	28.1	20.1	12.5	▲ 16.1	▲ 30.5	▲ 10.5	13.2	▲ 37.8	▲ 25.2	▲ 26.9
酪農(都府県)	▲ 10.6	4.4	11.9	14.1	0.1	▲ 21.6	▲ 45.0	▲ 32.6	21.8	0.0	▲ 24.1	▲ 24.2
肉用牛	▲ 45.2	0.6	15.1	36.8	30.9	18.0	▲ 14.1	▲ 33.4	▲ 20.7	▲ 7.4	▲ 62.9	▲ 47.4
養豚	48.0	25.4	▲ 10.8	34.3	23.6	11.6	16.9	▲ 28.0	▲ 52.4	15.5	17.3	▲ 6.2
採卵鶏	▲ 10.6	0.9	▲ 37.5	34.0	29.5	4.4	▲ 33.9	▲ 4.8	▲ 18.1	14.1	29.4	8.4
ブロイラー										▲ 20.0	▲ 21.4	▲ 6.3

2. 収支DI

	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年上期	23年
農業全体	▲ 6.9	2.9	16.6	3.0	▲ 1.7	▲ 5.5	▲ 20.7	▲ 0.1	▲ 21.9	▲ 26.3	▲ 28.8	▲ 7.2
水稲(北海道)	7.7	▲ 25.2	34.8	▲ 55.1	▲ 23.8	1.9	▲ 17.0	56.2	▲ 45.7	▲ 40.8	-	54.7
水稲(都府県)	▲ 7.8	▲ 8.6	22.3	▲ 39.1	3.7	▲ 7.8	▲ 23.3	24.0	▲ 16.9	▲ 61.1	-	14.0
畑作	4.3	36.3	41.8	39.2	▲ 25.2	▲ 17.2	▲ 53.9	13.2	▲ 16.7	▲ 32.3	-	▲ 21.4
露地野菜	▲ 14.6	▲ 12.6	17.3	20.9	▲ 4.0	19.3	1.6	▲ 1.6	▲ 13.9	0.5	▲ 20.1	▲ 18.1
施設野菜	▲ 18.5	5.7	▲ 1.4	10.2	▲ 6.3	4.9	1.9	▲ 6.8	▲ 25.2	▲ 9.5	▲ 31.4	▲ 18.2
茶	▲ 31.8	▲ 33.0	24.3	37.7	▲ 24.0	▲ 54.2	▲ 6.7	▲ 39.3	▲ 76.4	▲ 26.3	▲ 51.7	▲ 44.9
果樹	▲ 33.6	▲ 14.7	▲ 12.8	3.4	▲ 19.8	20.2	5.1	▲ 9.5	▲ 45.7	1.4	▲ 18.3	▲ 12.2
施設花き	▲ 15.8	▲ 12.3	▲ 13.2	▲ 8.8	▲ 19.5	▲ 6.6	▲ 4.6	▲ 40.8	▲ 36.5	▲ 20.2	▲ 48.1	▲ 38.8
きのこ	▲ 34.8	18.7	▲ 12.4	▲ 21.4	▲ 18.0	9.2	13.8	16.3	▲ 34.4	▲ 50.0	▲ 53.7	▲ 46.5
酪農(北海道)	19.9	47.9	35.5	25.1	10.3	▲ 29.4	▲ 42.2	▲ 6.5	33.2	▲ 44.0	▲ 34.1	▲ 25.9
酪農(都府県)	▲ 13.6	11.1	23.3	22.2	2.4	▲ 29.6	▲ 58.8	▲ 35.5	39.5	▲ 0.8	▲ 25.7	▲ 27.7
肉用牛	▲ 64.5	10.2	25.3	61.0	46.4	23.8	▲ 21.7	▲ 50.2	▲ 31.4	▲ 5.7	▲ 64.4	▲ 49.9
養豚	66.1	34.8	▲ 26.6	49.7	30.0	12.9	26.3	▲ 38.2	▲ 70.4	21.3	18.8	▲ 4.2
採卵鶏	▲ 24.4	▲ 1.7	▲ 51.3	50.5	38.9	▲ 2.0	▲ 56.1	0.0	▲ 28.2	29.5	42.2	14.3
ブロイラー										▲ 5.5	▲ 18.5	▲ 10.9

3. 資金繰りDI

	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年上期	23年
農業全体	▲ 10.4	▲ 1.3	7.2	1.0	▲ 4.6	▲ 8.4	▲ 20.8	▲ 8.2	▲ 14.6	▲ 14.7	▲ 15.4	▲ 3.8
水稻(北海道)	3.3	▲ 11.1	15.9	▲ 36.3	▲ 21.4	▲ 5.6	▲ 8.0	26.8	▲ 20.2	▲ 18.2	▲ 10.3	34.5
水稻(都府県)	▲ 13.9	▲ 11.0	8.7	▲ 27.6	▲ 7.1	▲ 10.4	▲ 24.5	8.4	▲ 10.2	▲ 38.1	▲ 13.4	10.0
畑作	1.3	20.5	35.5	32.4	▲ 9.2	▲ 15.1	▲ 38.3	5.3	▲ 5.2	▲ 12.0	▲ 11.9	▲ 9.7
露地野菜	▲ 20.0	▲ 13.1	3.9	13.8	▲ 0.9	7.5	▲ 2.6	▲ 4.0	▲ 12.4	2.0	▲ 11.0	▲ 13.2
施設野菜	▲ 19.7	▲ 4.9	▲ 6.8	1.8	▲ 11.7	▲ 5.3	▲ 11.0	▲ 14.4	▲ 25.2	▲ 4.2	▲ 19.2	▲ 6.3
茶	▲ 20.1	▲ 24.5	6.5	21.5	▲ 15.1	▲ 38.2	▲ 24.3	▲ 37.3	▲ 57.5	▲ 28.9	▲ 40.7	▲ 33.0
果樹	▲ 31.8	▲ 19.5	▲ 16.7	0.9	▲ 22.4	9.8	▲ 4.5	▲ 11.0	▲ 32.4	▲ 6.6	▲ 2.5	▲ 8.7
施設花き	▲ 28.0	▲ 19.1	▲ 20.2	▲ 14.1	▲ 22.4	▲ 11.0	▲ 15.1	▲ 36.3	▲ 31.2	▲ 19.2	▲ 33.6	▲ 27.4
きのこ	▲ 40.2	4.4	▲ 3.1	▲ 21.4	▲ 19.8	▲ 4.2	12.6	6.7	▲ 22.3	▲ 37.3	▲ 44.0	▲ 39.6
酪農(北海道)	18.3	38.1	32.0	18.9	9.1	▲ 17.3	▲ 31.7	▲ 9.9	20.1	▲ 18.9	▲ 15.3	▲ 15.1
酪農(都府県)	▲ 15.3	0.5	9.3	10.1	▲ 8.2	▲ 35.7	▲ 60.0	▲ 36.4	28.3	3.5	▲ 18.7	▲ 17.8
肉用牛	▲ 55.9	▲ 0.9	8.3	37.4	32.6	16.8	▲ 22.0	▲ 40.1	▲ 19.5	▲ 2.8	▲ 49.5	▲ 26.7
養豚	51.8	26.9	▲ 16.5	33.6	23.5	10.8	13.2	▲ 41.0	▲ 61.1	16.7	18.3	▲ 4.2
採卵鶏	▲ 9.4	3.9	▲ 46.7	43.8	41.6	8.3	▲ 39.0	▲ 14.0	▲ 16.9	18.1	31.4	15.6
ブロイラー										3.6	▲ 14.3	▲ 4.7

4. 販売単価DI

	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年上期	23年
農業全体	▲ 47.1	▲ 33.9	▲ 4.3	▲ 29.0	▲ 42.5	▲ 39.6	▲ 45.6	▲ 21.5	-	▲ 41.3	▲ 27.6	▲ 12.7
水稻(北海道)	▲ 38.5	▲ 68.9	17.7	▲ 86.7	▲ 80.4	▲ 42.1	▲ 60.4	5.7	-	▲ 84.0		32.9
水稻(都府県)	▲ 54.4	▲ 56.5	32.7	▲ 74.6	▲ 62.1	▲ 60.5	▲ 76.8	▲ 11.6	-	▲ 85.8		25.2
畑作	▲ 44.3	▲ 38.0	▲ 16.0	▲ 46.2	▲ 71.2	▲ 67.9	▲ 85.0	▲ 39.5	-	▲ 40.4		▲ 34.4
露地野菜	▲ 55.5	▲ 39.0	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 36.3	▲ 14.0	▲ 27.6	▲ 37.2	-	9.8	▲ 32.6	▲ 32.6
施設野菜	▲ 61.2	▲ 20.4	▲ 33.3	▲ 18.8	▲ 38.4	▲ 27.2	▲ 23.1	▲ 30.3	-	▲ 14.3	▲ 44.8	▲ 27.3
茶	▲ 58.3	▲ 38.3	▲ 4.5	▲ 3.0	▲ 58.5	▲ 68.5	▲ 47.1	▲ 71.3	-	▲ 36.6	▲ 49.1	▲ 43.0
果樹	▲ 68.9	▲ 28.7	▲ 30.0	6.1	▲ 56.2	17.7	▲ 21.5	▲ 33.2	-	20.1	▲ 16.3	▲ 15.1
施設花き	▲ 58.4	▲ 50.6	▲ 45.9	▲ 35.9	▲ 40.2	▲ 25.3	▲ 27.6	▲ 69.7	-	▲ 37.3	▲ 61.9	▲ 52.0
きのこ	▲ 77.2	▲ 9.9	▲ 55.8	▲ 65.6	▲ 61.3	▲ 21.0	▲ 14.0	▲ 14.4	-	▲ 69.9	▲ 76.0	▲ 53.9
酪農(北海道)	▲ 31.7	13.0	8.3	▲ 14.2	▲ 39.7	▲ 74.3	▲ 50.7	24.7	-	▲ 66.7	▲ 4.5	▲ 22.0
酪農(都府県)	▲ 40.5	▲ 0.2	▲ 0.4	▲ 8.1	▲ 44.8	▲ 72.6	▲ 62.0	2.8	-	▲ 5.9	▲ 5.5	▲ 24.0
肉用牛	▲ 78.6	▲ 12.4	42.6	62.6	58.4	28.4	▲ 30.4	▲ 71.8	-	▲ 33.6	▲ 78.7	▲ 65.4
養豚	65.7	10.2	▲ 51.8	52.0	28.5	16.2	68.7	▲ 28.1	-	11.2	40.2	▲ 22.9
採卵鶏	▲ 65.0	▲ 28.3	▲ 76.3	53.4	20.5	▲ 19.3	▲ 36.6	25.1	-	38.9	40.0	▲ 11.7
ブロイラー										▲ 12.7	3.6	3.1

5. 生産コストDI

	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年上期	23年
農業全体	▲ 8.7	▲ 8.5	▲ 8.1	▲ 20.8	▲ 29.0	▲ 37.4	▲ 60.9	▲ 63.5	-	▲ 43.6	▲ 53.0	▲ 48.6
水稲(北海道)	▲ 4.6	▲ 7.3	▲ 0.4	▲ 28.4	▲ 34.4	▲ 35.1	▲ 55.2	▲ 65.3	-	▲ 47.8	▲ 62.5	▲ 53.5
水稲(都府県)	▲ 6.8	▲ 7.0	▲ 2.5	▲ 20.7	▲ 18.8	▲ 21.5	▲ 44.0	▲ 49.2	-	▲ 38.6	▲ 46.6	▲ 40.7
畑作	▲ 9.2	▲ 5.2	▲ 2.5	▲ 18.1	▲ 23.9	▲ 34.4	▲ 65.9	▲ 72.7	-	▲ 55.2	▲ 59.8	▲ 62.3
露地野菜	▲ 16.4	▲ 10.8	▲ 8.4	▲ 21.4	▲ 30.2	▲ 30.6	▲ 50.7	▲ 66.7	-	▲ 54.4	▲ 54.6	▲ 55.3
施設野菜	▲ 6.5	▲ 8.8	▲ 14.9	▲ 22.2	▲ 39.1	▲ 34.5	▲ 61.2	▲ 65.4	-	▲ 55.9	▲ 55.1	▲ 52.4
茶	▲ 4.8	▲ 0.4	0.0	▲ 7.2	▲ 25.6	▲ 33.5	▲ 55.8	▲ 66.7	-	▲ 38.1	▲ 50.3	▲ 53.1
果樹	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 18.7	▲ 19.5	▲ 23.7	▲ 21.3	▲ 41.8	▲ 48.6	-	▲ 46.0	▲ 40.7	▲ 38.1
施設花き	▲ 2.5	▲ 7.9	▲ 9.8	▲ 25.2	▲ 56.3	▲ 37.1	▲ 63.4	▲ 63.7	-	▲ 34.9	▲ 50.9	▲ 48.9
きのこ	8.7	15.4	0.8	▲ 14.5	▲ 35.1	▲ 16.8	▲ 55.2	▲ 58.7	-	▲ 38.6	▲ 42.2	▲ 43.1
酪農(北海道)	▲ 8.2	1.4	▲ 2.6	▲ 21.1	▲ 22.3	▲ 60.2	▲ 73.6	▲ 72.6	-	▲ 51.1	▲ 60.2	▲ 59.0
酪農(都府県)	▲ 25.5	▲ 26.9	▲ 17.4	▲ 18.7	▲ 40.6	▲ 70.2	▲ 87.3	▲ 74.2	-	▲ 34.0	▲ 53.9	▲ 53.9
肉用牛	▲ 6.0	▲ 17.3	▲ 18.1	▲ 26.4	▲ 35.3	▲ 52.8	▲ 80.2	▲ 79.8	-	▲ 42.3	▲ 57.6	▲ 38.0
養豚	▲ 4.6	▲ 9.2	▲ 32.0	▲ 21.8	▲ 14.8	▲ 50.2	▲ 78.9	▲ 71.8	-	▲ 21.0	▲ 59.6	▲ 48.7
採卵鶏	▲ 13.1	▲ 15.6	▲ 41.4	▲ 10.6	▲ 23.2	▲ 44.6	▲ 89.0	▲ 56.4	-	▲ 23.5	▲ 62.5	▲ 31.2
ブロイラー										▲ 54.5	▲ 39.1	▲ 42.2

6. 今後の見通しDI

	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	半年経過時点	
											23年	24年
農業全体	1.4	5.1	14.7	9.9	1.3	▲ 7.2	▲ 18.1	▲ 5.9	▲ 12.8	▲ 19.9	▲ 24.4	▲ 0.7
水稲(北海道)	2.2	▲ 21.8	▲ 3.8	▲ 46.8	▲ 42.8	▲ 32.5	▲ 22.3	▲ 3.2	▲ 20.8	▲ 41.3	▲ 14.3	▲ 6.8
水稲(都府県)	▲ 7.2	▲ 19.2	5.2	▲ 13.4	▲ 9.0	▲ 12.6	▲ 23.9	▲ 4.0	▲ 8.7	▲ 39.3	▲ 11.7	4.5
畑作	3.1	12.2	13.9	0.3	▲ 28.2	▲ 49.2	▲ 50.2	▲ 31.3	▲ 28.0	▲ 32.2	▲ 35.9	▲ 19.8
露地野菜	▲ 18.9	▲ 4.1	9.5	13.1	10.5	0.5	▲ 0.5	▲ 9.2	▲ 9.8	▲ 16.0	▲ 29.1	4.7
施設野菜	▲ 3.7	8.3	10.9	17.6	15.2	21.5	▲ 1.2	▲ 2.1	▲ 13.0	1.2	▲ 26.0	9.9
茶	▲ 6.6	8.0	14.2	18.1	8.1	▲ 1.6	▲ 19.6	▲ 46.7	▲ 52.2	▲ 19.1	▲ 47.4	▲ 16.6
果樹	5.9	4.8	14.4	30.1	16.9	39.7	24.4	3.8	0.8	▲ 2.6	▲ 27.4	14.2
施設花き	▲ 4.2	1.9	19.8	5.2	8.5	18.5	▲ 9.0	▲ 18.3	▲ 15.4	▲ 5.1	▲ 36.2	5.0
きのこ	▲ 19.6	17.6	▲ 2.3	▲ 3.1	2.7	19.3	16.1	10.6	▲ 14.1	▲ 32.5	▲ 48.6	▲ 14.7
酪農(北海道)	28.6	48.9	45.4	32.5	▲ 3.1	▲ 29.5	▲ 23.3	12.8	▲ 25.4	▲ 30.2	▲ 38.6	▲ 11.4
酪農(都府県)	8.9	39.0	45.2	48.9	14.4	▲ 22.6	▲ 36.1	26.7	7.7	▲ 5.1	▲ 24.7	9.2
肉用牛	▲ 24.7	26.9	34.7	34.6	34.0	31.3	▲ 21.1	▲ 10.9	▲ 1.0	▲ 1.7	▲ 67.4	▲ 6.8
養豚	42.1	25.2	40.6	46.6	48.3	17.5	2.8	▲ 13.7	1.9	▲ 4.7	21.6	12.5
採卵鶏	14.4	▲ 1.1	▲ 23.7	64.4	▲ 0.5	▲ 10.4	▲ 38.3	▲ 10.6	▲ 14.8	33.1	24.2	▲ 50.0
ブロイラー										20.0	0.0	0.0

7 . 設備投資見込みDI

	18年	19年	20年	21年	22年	半年経過時点		24年
						23年	23年	
農業全体	▲ 8.6	▲ 4.7	▲ 9.0	▲ 2.5	-	▲ 33.9	▲ 29.4	▲ 25.4
水稲(北海道)	▲ 5.1	6.0	3.6	13.6	-	▲ 32.9	▲ 27.6	▲ 9.5
水稲(都府県)	▲ 3.0	4.5	▲ 7.4	11.8	-	▲ 30.1	▲ 18.5	▲ 8.5
畑作	▲ 15.5	▲ 12.6	▲ 20.4	▲ 0.9	-	▲ 22.8	▲ 27.0	▲ 19.5
露地野菜	▲ 7.3	▲ 8.3	0.0	▲ 6.4	-	▲ 29.6	▲ 37.8	▲ 26.5
施設野菜	▲ 6.6	▲ 4.8	▲ 2.1	▲ 5.4	-	▲ 34.6	▲ 27.6	▲ 30.2
茶	▲ 19.1	▲ 9.2	▲ 18.7	▲ 24.7	-	▲ 38.5	▲ 52.6	▲ 37.9
果樹	▲ 9.6	▲ 4.1	▲ 6.1	▲ 6.3	-	▲ 40.6	▲ 35.8	▲ 39.5
施設花き	▲ 12.2	▲ 8.2	▲ 15.7	▲ 25.4	-	▲ 57.5	▲ 49.1	▲ 40.2
きのこ	▲ 13.1	6.0	19.5	0.0	-	▲ 44.6	▲ 47.7	▲ 49.0
酪農(北海道)	▲ 32.2	▲ 26.5	▲ 18.0	▲ 7.4	-	▲ 52.1	▲ 48.5	▲ 50.7
酪農(都府県)	▲ 14.3	▲ 25.0	▲ 23.4	▲ 7.3	-	▲ 27.7	▲ 24.7	▲ 32.1
肉用牛	4.3	8.7	▲ 7.5	▲ 14.7	-	▲ 43.1	▲ 44.2	▲ 38.5
養豚	9.9	9.9	11.3	▲ 7.5	-	▲ 27.3	▲ 11.8	▲ 23.2
採卵鶏	3.6	0.5	▲ 23.5	▲ 9.6	-	▲ 20.0	▲ 11.8	▲ 23.4
ブロイラー						▲ 9.1	▲ 1.4	▲ 21.9

※設備投資見込みDIは、調査実施当年中の設備投資を「予定している」の構成比から、「予定していない」の構成比を差し引いたもの